

「産総研の知財紹介 ～技術移転に向けて～」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて講演会を開催致します。今回は、最近のユニークな出願や技術移転可能な産総研の特許(出願)の内容の紹介をさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

◆日時:2021年12月22日(水) 13:30～16:30

◆形式:Web講演会(Microsoft Teamsでご招待、Web版Microsoft Teamsで参加可能。

無料アプリ版は下記アドレスより入手可能、インストールしてご参加下さい)

<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/microsoft-teams/download-app>

◆定員:100名

◆参加:無料(名古屋工業技術協会会員及び一般)

◆参加申し込み方法:

下記のサイトへアクセスしていただき、参加登録を行ってください。

<https://forms.office.com/r/73rXq4aTBW>

(アクセスができない場合は、下記協会事務局へE-mailでお問い合わせください)

◆申し込み締切日:2021年12月16日(水)

■講演会スケジュール:(司会:産総研中部センター 知財オフィサー 伊豆典哉)

①13:30～14:00

「炭素繊維および炭素繊維樹脂含浸ストランドを用いた力学物性評価」

杉本 慶喜(マルチマテリアル研究部門 ポリマー複合材料グループ 主任研究員)

【概要】炭素繊維は高強度・高弾性率といった特徴を持ち複合材料の強化繊維として使用されています。近年では新品の炭素繊維に加えて、リサイクル炭素繊維にも注目が集まってきており、品質保証の観点から物性評価の重要性が増してきています。本講演では、炭素繊維や炭素繊維樹脂含浸ストランドを用いた炭素繊維の力学物性評価法を中心に開発した樹脂含浸ストランドの圧縮試験方法に関して紹介します。

②14:00～14:30

「セラミックスナノ構造膜およびガス・ニオイセンサの開発」

増田 佳文(極限機能材料研究部門 電子セラミックスグループ 研究グループ長)

【概要】水溶液プロセスによるセラミックスナノ構造膜の開発、および、セラミックスナノ材料等を用いたガスセンサ・ニオイセンサ、分子センサの開発について紹介する。特に、歯科用口臭センサ(市販)、熱電式水素センサ、肺がんを対象としたヘルスケア向けVOCセンサについて紹介する。複数のセンサからのデータ解析によるニオイ識別についても紹介したい。加えて、セラミックス構造膜による親水性・疎水性制御、光触媒、反射防止膜等についても触れたい。

③14:30～15:00

「内装表面の低放射化が室内温熱環境に及ぼす効果と当該用途のための新規低放射部材」

山田 保誠(極限機能材料研究部門 光熱制御材料グループ 研究グループ長)

【概要】室内空間の内装表面が通常0.9程度である放射率に着目し、これを0.1程度に低放射化した際の温熱環境にもたらされる効果を検証した。放射暖房した結果、体感温度が通常の一部屋より早く、そして高くなることを見いだした。検証実験では、低放射材料としてアルミ箔を用いたが、見た目に違和感があり実用的ではない。そこで、低放射率を維持しつつ、見た目の違和感を軽減したAg微粒子を用いた部材を開発した。講演では、検証結果及び開発したAg微粒子部材について説明する。

—15:00～15:15 一休憩—

④15:15～15:45

「ポストネオジム磁石に向けた希土類-遷移金属ナノ粒子合成プロセス開発」

平山 悠介（磁性粉末冶金研究センター ハード磁性材料チーム 主任研究員）

【概要】概要：高性能永久磁石は高性能モーターの開発には欠かせない。そこで、現状のネオジム磁石を超える磁石開発のための新規プロセスとして、熱プラウズマプロセスを用いた希土類-遷移金属ナノ粒子の合成に取り組んでいる。本公演では、これまで得られた結果と共に、今後の指針についても紹介する。

⑤15:45～16:10

「産総研の技術移転について」

藤本 浩良（知的財産部 技術移転マネージャー）

【概要】産総研は、産業技術政策の中核的实施機関として革新的な技術シーズを事業化に繋ぐ「橋渡し」の役割を果たすことが求められています。技術シーズの事業化の方法としては、(1)既存企業への知的財産等のライセンスによる技術移転、(2)技術移転ベンチャー等の創業による事業化、があります。今回は実際に企業の皆様に産総研の持つ技術シーズを事業化に活用していただくための技術移転の様々な手続きについて、その概略を紹介します。

ー16:10～ チャットによる討論 （16:30 終了予定）

《お問合せ》

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局

E-mail: M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp